

10. 長崎市の「現物給付制度」や子どもの医療費助成制度についてご意見・感想がありましたらお書き下さい

自由意見 (1~5154番まで掲載)

*福岡市に住んでいた時は、初診料を払えばその病気で再診する時は助成され、支払いはただでした。喘息など長く通院する持病をもっていると、1,600円の自己負担はもちろんずっと続くし、その他耳鼻科・眼科などかかると、少額ですが、うちには痛い出費です。うちの子たちは喘息ではなく、食物アレルギーがあります。3人とも小児科、アトピーで皮膚科に月2回以上通います。再診も助成されると助かります。

*せめて義務教育の間(小学生の間だけでも)に引きのばしてほしい。

*この制度は風邪をひきやすい我が子にとて、とてもありがたい制度です。幼いときは、何かと病院にかかる事が多く、少しでも病院に連れて行くのが遅くなったら重症化することが多いので、支払いする時に予め補助していただいていると、通院する負担額が少なくなるので、大変ありがたい。

*小学生の医療費も助成してもらえたらいつも思います。

*他県では、就学前まで医療費が無料のところもあるので、先々、長崎市もそうなればいいのに、と思っていました。最低でも現状維持してほしいです。

*減額されるのならば、以前の制度に戻してほしいと思います。減額の前に、年齢をよく利用する年齢(3~4歳)くらいまでにするとかの見直しをしてほしいです。

*子育て助成を市単位で行うのではなく、県や国などが力をいれて欲しい。補助金削減方針は初めて聞きましたが、少子化対策に逆行していて、憤りを感じます。

*何で「補助金」を減らすのかよく分からない。現物給付だからこそすぐに病院につれて行けると言ってお母さんもいるのに…

*できれば子ども達が義務教育までこの制度ができると、すごく良いのですが、できないでしょうか?そうしてくれると、子どもの数がふえてくれるのではないのでしょうか。

*数ヶ月後に返ってくる金額が当日ですむ。同じ事なのに、今までこの制度じゃなかったことに疑問をもちます。補助金の*減額とはどういった事なのか知りたい。

*現物給付制度なら、皆が平等に同じだけの助成を受けられるので、当然のことだと思います。償還払いは、手続の面倒さもさることながら、実際に入金されるまで早くても2ヶ月ほどかかっていたので、小さい子どもは病院にかかる回数が多いだけに、支出が増えるのは、どの家庭においてもやはり大変だと思います。ずいぶん改善され、とても助かっていますが、個人病院にかかる(大病院は時間がかかり、他の病気にうつらないか不安なため)ので、「一つの医療機関で」との制限をとり除いていただくと、もっと助かると思います。県の方針には到底納得できません。

*アレルギーでずっと通院している為、非常に助成は助かっております。小学校就学後も助成して欲しい。

*診療後に領収書を送付したり、とても面倒だったので、良かった。インフルエンザや水ぼうそう等の有料の予防接種も少しでも減額があると助かります(高いので)。



*もし補助金をカットするならば、益々子育てのしにくい、高齢化が進む県になりそう。他県から来た者にはとても不親切に感じています。もっと県内統一して、もっと子育てにやさしい手を差し延べてほしいです。

*少子化という現代で、もっと国からの制度がしっかりしていれば、子どもを産もうとする人は増えると思う。私も今の二人の子どもで限界である。もう一人ほしいとは思いますが…。

*少子高齢化で先の見通しの不安が大きい今、子どもを育てる家庭世代にばかり増税の負担が多くなる中で、もっと子どもを生み育てやすい環境を作らないと悪循環になり、大変な世の中になると思います。見直しが必要だと思います。

*子どもは思わぬ事故や病気で、お金がかかることが多いので、もっと補助は考えてほしい。

*少子化が進んでいても、子どもにお金がかかるので、この「現物給付制度」は、非常にいいシステムだと思います。国は*もっとよく考えるべきだと思います。もっと子どもを育てよう（生もう）と思える国になってほしいです。

*とても助かっています。前はあとから戻ってきたけど、お金がピンチの時、困っていました。

*子どもの少ないこの時代に、もっと親として子育てしやすい環境にして欲しいと思う（補助金はすごく助かる）。

*償還払いは申請が手間がかかり、小さい子がいる時は、大変。その手間を省いて、現物給付してくれれば、利用者にとって便利である。経済的にゆとりがない家庭でも症状が軽いうちに、病院を受診しやすくなって、結果的に全体の医療費削減につながるのでは？

*出来れば続けて欲しい。

*子どもを育てやすい環境の制度だと思います。

*申請手続がない分負担は軽いが、医療費の増加がいわれる中、安易に病院にかかりすぎているかなと自戒をこめ思うこともある。

*少子化で子どもを育てやすくしないとたくさん生むこともできません。国または県・市の助けが必要です。

*現段階で満足しています。いろいろ変わられても対応できないかもしれません。

*公立保育所廃止など、子どもを育てようとしている私達にとって、医療費助成制度はとても大切だと思います。

*現物給付制度になってすごく助かりました。子どもが多いと冬場など病気になりやすい時期は、病院代がバカになりません。この制度が変わる事は前々から望んでいた事なので、嬉しく思いました。

*年齢が小さい時は、病院を受診する機会が多いので、今の制度があれば経済的に助かっています。

*一部においてまだ現物給付ができない医療機関があります。完全なる現物給付の実施を望みます。

*この制度の対象外という家庭については考えてはいただけないのでしょうか？子ども4人分の医療費はとてつもなく高額になる時があります。この制度ができたからといって、私達家族には何の意味もありません。何の助けにもなっていません。

*子どもの数が少ないので、年齢を小学校入学前までではなく、もう少し延長してもらいたいと思う。

*現物給付制度は県内では長崎のみ、ということですが、もし、出かけていて他の市で病院を受診した場合は、現物給付は受けられないのでしょうか。助成分を戻してもらおう手続きをしないといけなかった頃は、手続き漏れがあったので、今回はとても助かっていますが、市の財政上補助金減額ということですが、大丈夫なのかなと心配です。続けてもらえるよう願っています。

*「現物給付制度」になり、手続きもしなくて、とても助かっています。病院で支払いをして、また書類を提出すると、とてもムダがなくなったと感じております。

*現在少子化が問題になっているのに対し、子育てや子どもをとりまく環境が困難になっていくのはおかしい。老人が増えて、それに伴う費用がかかるのは分かるが、将来の事も考えて、もっと出産や子育てに関する助成や支給

を増やすべき。国や県はもっと他に削るべきところがあるのではないか？

*手続きするのに時間がかかったり、用紙が何十枚もいるのもつたいない。小さい子どもを連れて行く事が大変（病気で家や病院から出られない時なども）。

*少子化対策の一つとして続けてほしい。が、他にももっと深刻な問題があるなら仕方ないのかなと思います（福祉など）対象を小学生までにしてほしい。

*以前の領収書をそえて提出する制度は、提出する時に記入して出す書類にかかる費用がもつたいないのでは、と思っていました。「現物給付制度」は、家計にすごく助かる制度だと思っています。

*小さい子どもがいる家庭ほど、負担がかかるので、補助金削減はおかしい。

*一部の病院、歯科医院でしか実施していないので、長崎県内全部が実施しているのなら、手続きの手間もはぶけて良いと思うが、全部が全部の病院じゃないので、以前とあまり変わらないと思う。

*現物給付といっても、100%ではないから、評価はどちらでもない。育児中は書類を書く時間ありません。やっと書類を準備しても、小さい子どもを連れて役所まで行くのも大変なのです。現物給付の方がいいとは思いますが、自治体で異なるのは不公平です。

*4月から県外（東京から）より引っ越して来て、窓口で自己負担があることにおどろきました。少子化を防ぐ意味でも、医療費への助成はとても良いことだと思います。せめて病気の種類によって助成金が違って良いかもしれません（すぐに病院にかかるのを防ぐためには）。

*里帰りで関東で医療費助成の用紙に記入をお願いしたら、長崎のフォームはわかりにくいと言われた。全国統一にならないのか？

*現物給付制度以前は、申請後に口座へ入金される金額と、私自身が予想している金額が一致しない時があり、疑問が多かった。できれば詳細な計算方法、金額が各家庭に知らされる事が望ましいと思います（明細書がほしい!!)

*制度をころころ変えるのは困る。一番お金を必要としているところからとるなんて…弱い者いじめかな？

*高齢の方や、小さな子どもをかかえている親にとって、金額を払ってから、また役所に差額分の手続きをわざわざ行くことに疑問を感じる。是非他の自治体での実施を希望する。

*現物給付制度は「ようやく」始まり、手続きの手間が省けたことは良いことだと思いますが、少子化にあたり、補助金の減額がなぜ必要なのか？アンケートを利用者に求めるより、その理由を広く県民に知らせる方が大事だと思いますが…。

*何故補助金を減額するのでしょうか？

*「福祉医療費受給者証」を忘れてしまった場合、従来通りの手続きをせねばならず、面倒でした。保険証等で住所が確認出来たら、「現物給付制度」が使えるようにしてほしい。受給者証の大きさが中途半端な大きさが形態しづらいです。

*子どもの医療費はとても家計の負担になるので、就学しても給付してほしい。

*子どもは病気にかかりやすく、この助成制度がとてもありがたく思います。また「現物給付制度」がこのままの形で存続していくことを望みます。

*以前、久留米市に住んでいましたが、そちらの乳幼児医療費制度が良かったので、こちらは不便に思いました。初診のみ支払えばよかったので、皮膚科や歯科など長く通院する時には、長崎市の場合は、負担が多くなります。よりよい改善を求めます。

*少額前で終わってしまうけれど、小1ぐらいまで助成制度が続くとありがたいと思います。

*助成分を戻してもらう手続きは正直面倒でした。つい後回しにしているのが現状でした。この制度になり、非常に助かっています。

*出来るだけ今後も現物給付制度を続けてほしいです。

*子育てをする上でとても助かっています。よく病気をするので、これからもこの制度を続けてほしいです。

*産前・産後に社会保険からいただける給付金が入金されるのが遅く、日にちもまちまちです。入金日を確実に決め、早急に入金できるようにしてほしい。

*なぜ補助金をカットするのかわかりません。税金の無駄使いを言われているので、正当な理由なら良いでしょうが…。長崎市はどのように思っているのですか？私は現物給付になり、とてもありがたいです。病医院での負担は大きいでしょうが（面倒でしょうから）…。

*現物給付制度を最近知りました。医療機関でも支払いの際に一言言ってくれるとよかったのに、と思っています。

*これからも続けて下さい。よろしく願いいたします。

*財政事情が大変だとは思いますが、親として非常に助かっています。これからも継続して下さい。

*子どもの多い家庭にとって、「現物給付制度」はとてもありがたく、とても助かっています。3人の子どもがいて、1ヶ月の医療費、かかる時はとてもかかります。9番の問いには答えていませんが、とても良い制度を実施しているにもかかわらず、補助金もそのまま…とは贅沢でしょうか？本音を言えば、補助金もそのまま…を希望します。しかし、金額はともかく、手続きをしなくてよくなっただけでもありがたいです。これも本音です。

*現在の対応に満足です。

*現物給付制度の導入、誠にありがとうございます。

*今後も「現物給付制度」を続けてほしい。本当に助かります。

*少子化を是正しなければならないと言うのであれば、現物給付制度は必須です。小さい子を抱えての役所での手続きはすごく大変ですので、長崎県の態度は時代に逆行していると思います。

*ピンクのカードが、カードタイプの保険証と同じサイズになると、なくしにくくなると思います。

*「申請すれば返ってくる」というただそれだけのカンタンなことも、小さな子どもを抱っこして役所の窓口に行き、バタバタする子どもをなだめながら手続きする「労力」を考えると、暗い気持ちになるので、「現物給付」以前のものは申請しないままだったこともありました。とても助かっています。ぜひ続けてほしいです。

*少子化なので、もっと子どもを育てやすいように、補助金は続けていってほしいです。

*私は公務員の共済なので、従来通りピンクの紙を役所に提出しています。もし、県や市が事務手続き等で人件費などがかかるのであれば、償還払い制度でもかまいません。ただし、低所得者の方は病院でお金を払うのも大変な時もあると思うので、そういう点では現物給付がよいと思います。長崎市の児童手当は所得制限がありますが、この乳幼児福祉医療には所得制限がないので、高額な医療費以外は所得制限を設けて、低所得者への援助をもっと手厚くしたらどうかと思います。

*金銭面的なところでとても助かっています。できれば対象年齢をもっと上げてほしいと思いました。

*少子化していて、子どもが減ってきているのに、減額すると今後の出生率に影響があると思います。

*現物給付制度はとても助かっていますが、自治体によっては子どもの医療費がかからないところもあるという話。子ども達の為にも、長崎もそうなればよいと思います。

*小学校就学前だけではなく、中学校就学前もしくは未成年まで助成するべきだ。

*助成分を戻してもらおう手続きの必要がなくなったことは良いと思いますが、制度内容をわかりやすく利用者に伝えてほしい。

*医療費助成制度を「中学校就学前」までにひろげてほしいです。

*財政が厳しいのは理解できますが、助成制度があるのに、申請した人としらない人で、受けることができない制度

ではおかしいと思います。不公平をなくすためにも、現物給付は続けてほしいと思います。

*なぜ小学校へ入ると突然制度が打ち切られるのでしょうか？最低でも低学年までは医療費の助成をしてもらいたいものです。

*補助金を削減するのではなくて、増額をして長く続けて欲しいです。

*老人の方ばかりではなく、子育て世帯へ目を向けなければ、少子化問題は解決しないと思います。

*長崎県（編注：長崎市の間違いです）は最近、「現物給付制度」を行いだしたが、他県（大阪府など）は早くから実施しており、子どもの医療費負担の軽減によって少子化対策にもつながると思う。

*小学校卒業までにしてほしい。

*現在の給付制度…子どもがよく病気をするので、負担額が減り、本当に助かっています（特に薬局払いの分）。でも病院窓口にかぶる 800 円という金額が中途半端なので、キリのいい金額だともっと嬉しいです。

*昨年4月まで福岡市に住んでいたのですが、現物給付制度は当然のことだと思っておりました。手続きをしなくては、助成をしないという考えは少子化問題を真剣にとらえていないことだと思っています。

*子どもは病気になりやすいので、全面的に医療費の助成をして欲しい。

*小学校入学までということですが、息子は4月1日生まれで、5歳までしかこの助成を受けられませんでした。（下の子は7月生まれで7歳近くまで助成を受けられます）年齢で助成制限を決めるという事は不可能でしょうか。

*私自身、今までの償還払いシステムでも別に手間がかかるとは思っていなかったのですが、補助金をカットされてまで、現物給付に変更しなくても良かったのでは？と考えています。私は今まで助成金を申請する時は、医療機関の領収書を添付していたのですが、毎回「今月は医療費にいくらかかったのか？」というのを自分で確認もできたので、子どもの健康管理にも役立っていたと思っています。

*自治体により、方法や差が出るのはおかしいので、国として実施できるといいですね。どんな家庭でも、子どもたちのために受診しやすくなる環境を作ってほしいです。

*子どもの医療・福祉についてもっと充実させてほしい。

*実家（広島県）の方では、月2回 500 円・初回より無料の自治体があります。そこまでとはいいいませんが、10歳までなど、もう少し助成していただいたらうれしいです!!

*小学校就学前ではなく、もう少し年齢をのばしてもらえると助かります。

*現在の制度を続けてほしいです。それがなくなると3人の子どもがいるので順番に病院通いとなり、かなり医療費を負担することになり、とても厳しい状況になります。

*なぜ県は現物給付制度を実施する自治体に対して補助金を減額するのか、納得がいきません。

*手続きがなくなり、本当に助かっています。このまま継続していただきたいです。

*現行では、一施設の制限が 1,600 円なので、例えばいくつもの科がある大きい病院を選択するようになった。同じ医療を受ける点でいうと少し矛盾を感じる。

*他県（一部）では、18歳まで助成制度の適用、とされているそうですが、長崎県内でも18歳まで（医療費助成制度）補助金の給付を実施してほしいと思う。複数の病院へ通院を毎月（二人とも）しているので、自己負担分の引き下げを強く希望する。

*子どもは大人と比べ、病院にかかる回数が多いです。本当に必要なものを見定めて、弱い者に優しい長崎であってほしいと思います。

*1ヶ月に何カ所の病院に通うとけっこうな金額になってしまうので、もう少し負担が少ない方がいい。

*現物給付にする方が、利用者と役所における手続きの簡素化がはかられ（かなりアナログな方法だったし）、経費としても安くすむのではないのでしょうか？その分、病院・役所間の手続きは必要となってくるが…ほとんどコン

コンピューターで処理していることだと思うので、安くすむはず。どうして、補助金がカットされるのか理解できない。

*「現物給付制度」はとてもいいと思います。子どもを持つ親として、大変助かっています。今後補助金をカットされるといことはおかしいと思うし、他にカットするところがあると思います。未来ある子どものために…。

*子どもの福祉医療制度の対象年齢を3歳から小学校入学前までと引き上げられたことはありがたかったが、4月生まれと3月生まれとでは約1年の差があり、損した気分である。小学校に入学してからもしばらくは体力的に弱いので、せめて低学年までは助成を受けたい。

*可能であれば1カ所ではなく、何カ所受診しても1ヶ月1,600円限度であれば良いです。少子化というのであれば、もう少し子どもにかかる金額を、もう少し助成金 etc 考えて欲しいです。

*熊本県菊池郡菊陽町にすんでいた時は、菊陽町内の病院を受診した時は、窓口での支払いはありませんでした。となりの市・郡・町で受診したら、用紙に保険の点数がある領収書を添付して提出後、振込でした。なので、今でも病院で月800円を払うのに抵抗があります。

*地方職員共済も早く「現物給付制度」を実施してほしいです。

*小学生までであればもっと良いと思います。

*子どもの医療費は自己負担が少なく、安心して育てられるように、より一層してほしいです。

*現物給付制度は子どもを持つ親にとって、助成分返還の手続きの面倒さがなく、また窓口で支払う金額も少なくすみ、大変助かる制度であるのに、それを阻止させるかのように、県が補助金を削減するのはとてもおかしいと思います。今の少子化問題を解決させるという流れからも逆らう方針だと思います。

*定期的に受診していて助かっていますので、今後も続けていってほしいです。

*被原爆保険者を抱える間、世代交代になるまで、長崎市の負担は多いことと思いますので、助成金増は難しいことと思いますが、他の自治体はもう何十年も前から子どもの義務教育中は、医療費負担ゼロのところが多く存在いたします。子育てだけをするなら、他県の方が楽です。少子化対策のためにも、これ以上の医療費窓口負担は避けたいものです。記入にあたり、読みにくいところもありましたが、宜しく願いいたします。

*子どもは病院に行く回数が多いので、「現物給付」になって、とてもたすかっています。以前はすごく大変で、金額が少ない時には、支所までのガソリン代金の方がかかるので、請求出来ない時もありました。「子どもを育てやすい長崎県」にする為に、削減しないで欲しい！切実な願いです。

*他の地域ではある年齢まで医療費・薬代が無料となっています。自治体によって助成の金額がまちまちだと不公平のような気がします。自治体よりもっと大きな単位（国）でやってほしい。

*福岡から転勤してきたので、向こうは早くから現物給付だったので、長崎にきてとても不便でした。今回、とても助かっています。



*この制度によって、休日に常備薬をもらったり、医師が高いお薬を出しやすくなるなど、医療費があがってしまうということを聞いたことがあります。それを防止するために、利用者に不利益がないような方法で解決してほしいと思いますし、別の部分で（補助金をカットするのではなくて）カットすべき点が沢山あるのではないのでしょうか。暮らしやすい良い県にしてほしい。

*1ヶ月1,600円まで、となっているが、いっそのこと無料にしてほしい。無駄に使われている税金があるのであれば、医療費にまわしてほしい。小学校就学前の子どもだけなので、小学校の子ども対象にしてほしい。

*その制度を受けることができる年齢層をもっと拡大してほしい。

*利用をしやすくなった事はうれしいですが、せめて、小学校卒業まで利用を出来る様にしてほしいです。

*この制度が始まってから、病院に行きやすくなったので、すごく助かっています。少しの症状でも病院にすぐ行くので、病気がひどくなることなく、すぐに治るので、子ども達にも、とてもいい制度だと思います。この制度があれば安心できるので、少しずつ子どもも増え、少子化にも少しは良い影響があるのではないのでしょうか。

*病院ごとに1,600円まで、というのがあまり納得いかない。1ヶ月に何カ所通っても負担がもう少し少なくなっ
てほしい。

*年齢を就学後まで上げてほしい。

*子どもが風をひいたり、病院にかかる時が多いため、大変助かっています。通院だけでなく、薬のみの場合もあ
るので、月単位で考えると、とても良くなったと実感しています。

*市内でもまだ現物給付じゃない病院もありますので、全病院が現物給付になると助かります。

*医療費助成制度の対象者の拡大を願いたいと思います。小学生の間、または小学校の低学年の間は現物給付制度
が実施されたらと思います。

*子どもの数が減ってきている今、もっと子どものために、できるだけのことをして欲しい。給付制度も義務教育
の間くらいまでにして欲しい。

*市町村レベルでなく、国で統一して何歳までは無料にするなど、同じ制度にしてほしい（県によっては、窓口支
払いが一切ない所もあると聞いているので…）。

*気管支が弱く定期的に病院にお世話になっています。現物給付は時間的にも経済的にも助かります。これからも
子どもを大切に作る制度を大切にしていきたいです。

*現物給付はとても助かります。できれば幼児だけでなく、小学生や中学生にもしてもらえればとても助かります。

*大変、助かっています。補助金の減額はやめて欲しいものです。

*「現物給付制度」になる以前はたびたび役場に行かなければならず、大変不便でした。子育て中のお母さんはな
かなか外出するのも難しく、これからはどの市町村でも「現物給付制度」が実施されるべきだと思います。補助金
をカットするのではなく、むしろ増やしてほしいです。

*出来れば子どもが18歳になる迄助成してくれたら本当に助かると思います。私の姉の所はそうなっているそう
です（京都）。そしたら安心して子育て出来るのに、と思います。

*この制度がこの先無くなるのがもしあったら、と心配しています。子どもの命を守る良い制度だと思います。

*一人目が小学生だが、助成対象からはずれているので残念だ。

*日曜日に小児科を受診したことがあります。緊急度はあまりないと思われる方も多く、スタッフは多忙のよう
でした。そのような受診に対しても、一律に助成する必要があるのか疑問です。手厚すぎる助成が、医療費の無駄遣
いや小児科医の過重労働につながっている面もあるのではないのでしょうか？（勿論、受給者のモラルも問題です
が）、一律の助成が最良とも思えません。

*以前の制度に比べ、手続きする必要がなくなったので、とても助かっています。確定申告に使う為、領収書をい
ちいちコピーしたり、用紙を何枚も（時には10数枚！）書いたり、整理したり、小さい子が何人もいる家庭には
とても大変な手間でした。自己の手出しの金額が以前より（600円→800円）増えているのだから、これくらいの
サービスは当たり前だと思います。3歳まで無料の所（他県）もあるのですから。

*現物給付にしてもらって助かっています。市の方でも振込や、いちいち書類チェックなど手続き関係が楽になり、
お互いとても良いのではと思います。

*福岡県は乳幼児が負担する医療費がいくらい充実しているという話を聞きました。補助金がそういうように使
われたらと思います。また障害をもつ子どもさんへの補助金として利用してもらえたらいいと思います。

*なぜカットをしようとするのかわからない。でも子どもはこれから育っていく大切な宝なので、子どもに対する
補助金を減額するのはおかしいと思う。

*この補助金カットの問題は以前よりおかしいと思っていました。子育てしやすい市にしなくてはならないのに、
県がじゃまをしてどうするんでしょうか？もっと追求して下さい。

*子どもが育てやすい環境にしてほしい。ニュース23で子どもの何だったか忘れてしまいましたが、東京と一番

低い長崎県ということで比較されていて驚きました。どこかの区では、中学まで医療の助成があるという話だったと思います。住みやすい県、育てやすい県にしていってほしいです。

*他県では、もう何年も前から実施されていて「やっど…」という感じです。小さい子ほど病気はするし、その分の病気代もかかるのでよかったですと思います。本当ならもっともっと早くしてほしいです。

*大変より制度で、税金や手間のカットになるのでは？と思います。

*最初の 800 円を支払うのももっと安くしてほしい！全額ただにしてほしい！

*今は小学校入学前までになっていますが、他県では小学校卒業までという県もあるので、入学前ではなく、利用できる期間を長くしてほしいです。持病をもっている人は、やはり大変です。ぜんそくなど、薬代がけっこうかかります。

*少子化で、国の未来を担う宝の子ども達をもっと大事に扱ってほしい。年金があってもいいと思う。

*小学校に入ってから、病気しがちなので、せめて低学年までの受給を延長してほしい。

*現物給付制度になり、とても助かっています。これから少子化対策の為に受給者の年齢をあげて、小学生・中学生までにしてほしい！

*「現物給付」になり、とても助かっています。実施するにあたって、市側はコストも逆にかかるだろうし大変なのに、県はなんで補助金を「出す」のではなく、「減額」なのか？疑問です。“子育てを支援する”という世間の流れに逆行しているように思えます。このままではまた助成分を請求するようになるのでは…と心配です。

*「現物給付制度」は親の立場からは非常に便利で手続きの手間も省けて、すごく助かっています。しかし「補助金」の減額するのは大変おかしく感じられます。反対の署名活動等をしたらどうでしょうか？

*少子化だから子どもをもっと産んで増やしてほしいと言っているなら、もっと子どもを育てやすい環境を整えてあげなければ、少子化はなくならないと思うので、国全体で現物給付制度などをしてほしいと思います。

*就学前をのばしてほしい。

*償還払いは非常に面倒で、共働き夫婦にとって平日に市役所へ行くことは簡単ではなく、結局申請せずじまいになります。子どもに対する医療費は結構負担で、受診行動の遅れにもつながりますので、小児の健康のためにも良い制度だと思います。

*インフルエンザの補助を現行の就学時未満ではなく、せめて小学生まで引き上げてほしい（長崎市は他の市町より、一部負担も高いので、金額面も）。

*全員が「現物給付制度」を活用できるようにしていただけると助かります。

*今回のシステムの方が助かっています。ありがとうございます。

*現物給付になり、800 円で病院に行くことが、行きやすくなり、多少にも、子どものために検査もひどい時のレントゲン他の高くつく医療費を考えなくてよくなり、現にまだ助成分手続きをしたことがない分。今すぐ窓口ですませる方針になったので、助かっています。

*どうして補助金を 1 億円カットになるのかわかりません。税金はきっちり払っているのですから、それなりの補償をお願いします。

*現物給付制度がはじまる前、一度も申請をしたことがありませんでした。手続きに要する時間があれば、少しでも休みたい、そう思う程、育児は大変です。決して生活が楽なわけではありません。現物給付になり、本当に助かっています。ありがとうございます。これからも余裕のある子育てができるようサービスを拡大してほしいです。

*住んでいる場所で制度が違うのはおかしいと思います。以前は市役所まで手続きの書類を出しに行ったり、書いたり、とても面倒でしたので、現物給付はとても嬉しく思っています。

*子どもがまだ小さいので、ちょっとしたことでも病院をすぐに利用できて、病気もひどくなる前に治せて、以前

より病院を利用しやすくなりました。お薬面でもこちらから先生にいろいろと注文しやすくなりました（支払いがなくなったので）。

*長崎は子どもの医療費助成金の自己負担額が高い。他の県では無料という自治体も多い。病院では診察代が1回につき 800 円未満のことも多く、実際に助成してもらっている金額は低いと思う。子どもは具合が悪いけど、病院には連れて行かない、という訳にはいかないので、せめてもう少し自己負担額を少なくしてほしい。

*実際の話、ウチもそうなのですが、周りのお母さんたちもみんな、給料日前などに病気などで病院にかかるのは痛いと言っています。もっと下の者の立場も考えて、医療費無料にして下さい!!

*長崎市は子どもに対しての制度が厳しい様です。原爆に対する制度はゆるくなるのに（高齢者が三大疾患、歯科的病気は被爆有無に関係なくおこりうる事なのに）子どもの方に少し回してほしいです。

*ピンク色の紙のカバーか何かあるとよいと思った。アレルギー等でよく使う者にはボロボロになりやすく、紙はやぶれやすいし、文字もうすくなってきた。

*低年齢の間は、病院通いする子どもの親として、現物給付制度が出来まして助かっております。ありがとうございます。

*少子化問題がどりざたされているのに、削減するのはどうかと思う。

*システム上困難な点はあるとは思うが、実施するのであれば全員（市民）が対象になるようにしていただけると助かります。

*全ての病院で使えるようにしてほしい。大学にかかりつけだが、その度に全額発生していて市に手続きが面倒です。

*他県のように自己負担をなくしてほしい。この差は大きいと思います。

*少子化対策のためにも続けてほしい。

*この制度があつてとても助かっているのでやめないでほしいです。

*他の県は子どもの医療費は無料なのに、どうして長崎はできないのか、腹がたちます!!

*3人目は、昨年8月位に病院に20日位、通いました。その時はすごく助かりました。先生からも「良い制度ができて助かったね!!」と言われるほどでした。自己負担していたら…生活が苦しかったと思います。今後も続けてほしいです。ヨロシクお願いします。

*親にとって便利な制度なので、減額などしないでほしい。

*働く母親にとって手続きをする時間もなく、仕方ないか、とそのままにしていたのが、現在の形になってとても助かっています。国としてこのような制度をきちんとしていけば、少子化対策にもつながるのではないのでしょうか。政治家の方にも考えていただきたいことだと思います。

*他県では医療費は全くかからないところがあると聞いております。佐世保道路など1km 200億円の建設費を使っていると聞き、少しでも福祉の方を充実させて、無駄なことに税金を使ってほしくないです。

*東京などは12歳ぐらいまで無料のところがあります。もう少し年齢を上げてもらえたら、もっとも助かります（しかも少子化の時代に地方で、2人、3人と産んでいる方の方がいっぱい負担しなければいけないのは不平等）。

*子どもを連れて支給申請に行くのは大変でした。赤ちゃんの頃は、着替え等、大きな荷物と赤ちゃんをかかえての外出自体が大変。少し大きくなると、脱走したがる子どもを足の間にはさんで窓口へ。訂正する様に言われても、その場で書けるわけもなく、一度家へ持ち帰っていました。郵送するにしても、何枚もまとめて申請するので、送料がいくらかかるか、郵便局に持ち込まないと分からなかったりします。これらがいやで申請しない人もいます。補助金カットは、この申請もれを期待できなくなったからでしょうか？

*この様な制度になり、大変助かっていますが、長崎市内でもすべての病院でない様ですので、とりあえず市内すべての病院でこの制度が受けられる様にしていきたい。県からの補助金が減るとのニュースはとても気になり

ます。私達の負担はかわらないとしても今までの様な補助がある様に願っています。

*以前のように1枚1枚ピンクの紙に記入して提出するという面倒な制度はおかしいと常々思っていたので、現物給付制度になってとても良かった。今後も続けて欲しい。現物給付にすると、「請求者が増えて困る」という県の姿勢は本末転倒だと思う。何のための子どもの医療費助成制度なのかと考えてほしい。現実には財政が苦しいのだろうけれど。

*喘息なので毎月、内服薬を処方してもらっているが、負担が大きく、手間もかかるので、現物給付になってから大変助かっています。今年小学校に入学するので、このシステムは利用できなくなりますが、幼児期は病気にかかりやすいので、是非この制度を続けていてもらいたいです。

*償還払いで助成していただけますが、なかなか領収書を貼付して申請書を提出できず、領収書がたまっています。現物給付対象になりたいです。

*これだけ少子化問題が話題となっているのに、補助金カットをすとか普通じゃ考えられない。県の措置に憤りを感じる。*無駄な新幹線の長崎乗り入れとかで税金を使わず、医療・福祉を重点的に充実してもらいたい。

*自己負担分をもっと少なくしてほしい（病院がいくつかあったり、兄弟がいたらかなりの金額になる）。

*少子化が問題になっている今、とても大事な制度だと思います。継続おねがいします。

*小児科に月に何度も通うので、当制度の実施にはとても感謝しています。以前の申請に比べ、今は同じ病医院の月1,600円以上の受診であれば申請に行かなくても済むので、それも助かっています。ただ、違う病院を月にいくつか受診すると、申請に行かなくてはならないので、もしできれば、福祉医療費受給者と一緒に他病院でもその月に自己負担分を超える受診をしているか分かるものを提示すれば、助成の申請が不要になると思います（例えばカードを作り、病院で受診日、負担額を記入・捺印してもらうなど）。

*子どもはよく病気になり、時には家計の負担になります。少子化に歯止めをかけるためにも、また共働きの妻の手間を省くためにも現物給付と助成は続けてほしいです。

*福祉医療費受給者証のサイズを保険証と同じサイズにしてもらえたら助かります。また、自治体・市町村で制度が違うというのも不安です。

*以前に比べればだいぶ子どもの福祉に力を入れているけれども、今、景気の悪い長崎ではもっともっと力をいれてくれないと困る。少子化の世の中なので、力を入れてもらうのはあたりまえなのではないか。

*あまり病気をする方ではありませんが、とても助かっています。今後とも宜しくお願い致します。

*現物給付制度をもっと早く…と希望していて、今やっと…という思いです。福岡などでは数年も早く実施していました。県全体で広まればいいなと思っています。少子化…とは言いますが、私のまわりでは3人子どものいる方も多く、長崎県内ではあまり感じません。だからこそ、地方で子育てしやすいシステムは必要だと思います。

*今の長崎で就職していますが、とても35歳の収入とは思えない程低賃金です。先立つものが無く、本当に苦しいなか、助成があるのは、とても心強いです。

*小学校就学前までではなく、9～10歳くらいまでにのばして欲しい（小さいうちは病院へ行くことが多いので）。

*子どもが増えればその分医療費もかかるし、この制度にはとても感謝しています。これから子どもを育てやすい長崎市であってほしいです。

*受給者証を忘れると支払わないといけないし、サイフに入れておかないといけない物も増え、「保険証」でOKになると助かりますが、何とかならないでしょうか？

*みんなに平等な制度にして欲しい。

*ぜひこの制度を続けてほしい。未来を担う子どもを助成するよい制度だと思う。

*子どもが年末に肺炎になり、入院しました…病状はあまりたいしたことはなかったのですが、年末ということで入院費がどれくらいになるのか心配だったのですが、ほとんどかかっていないような金額だったので、助かりまし

た。この制度のおかげだと思いました。ありがとうございました！

*受給できる年齢を小6（12歳）まで引き延ばしてほしい。

*他県では病院代など無料の所もあつたり、他色々の違いがありますが、なんでこうも県、又は地域によっての違いがあるか知りたいです。

*この制度をとり入れていない病院もあつたので、全ての病院で施行していただきたい。

*子どもを育てていく為に共働きをしていくのは仕方がないと思っているが、それでも余裕のある生活はできない状況にある。子どもを健やかに育てる為にも医療費は節約できるものではないと思うが、これでは少子化になってもあたり前だと思う。子どもを産む為には安心して産んで育てられる環境・医療を整えるべき！

*少子化をくい止めるためにも、小学校就学前の子どもたちの自己負担を0にし、小学校までの子どもたちに対しても枠を広げてくれる良いと思います。

*以前の申請手続きは手間がかかっていたので、今は大変助かります。未就学児だけではなく、小学校6年生位まで助成していただけるとありがたいです。

*減額することが決定になったら、今の現状はそのままいけるのか心配になります。

*少子化が進む中、子どもに手厚いこのような制度は、子育て家庭にとって大変ありがたく思います。

*できれば就学前までではなく、10歳くらいまでにして欲しい。

*とても良い制度だと思うので、是非これからも続けて欲しいと思っています。

*とにかく手続きの手間がないことが助かっています。後から戻ってくる制度だとなかなか自分では計算しないで、本当にそれが（金額）正しいのかも分からないし、1度にかかる金額が大きいのは家計の負担にもなります。

*3人目の子が体が弱く、何度も病院へ行きます。前回より良くなったのに、削減はないと思います。「少子化」は進んで行く一方だと思います。矛盾していると思います。

*「現物給付制度」が導入され、大変助かっています。以前は一月ごとにかかった病院、薬局の数分請求用紙を記入しなければならぬし、提出が郵送で良いとなっても、結局用紙をもらいに行かねばならなかったり、特に、乳幼児期は病院にかかる回数も多いので、大変手間でした。仕事を持っている母親は強く感謝していると思います。ありがとうございました。この制度が長崎県全域、全国へ広がることを願っています。

*手続きをせず、「現物給付制度」は大変助かります。

*以前までは、手続きをしないとイケなくて、大変だったが、今は手続きなしで良いので、助かっています。必ず毎月病院にかかるので、負担していただけるのはありがたいです。

*住む地域によってこのように差があるのは納得いかない。

*長崎市として「現物給付制度」をとるのであれば、全ての子どもに対して行ってほしい。働いているのに毎月申請の手続きに行くのは難しい。

*現物給付制度は利用者にとって、手間も時間も省けて、とても良いと思います。以前は役所に用紙を送ったりと大変でした。役所の方の仕事も効率よくなっているのではないのでしょうか？この制度をしていない市町村こそ「人件費」が、「時間」が、もったいないと思います!!

*これからも子どもを育てやすい環境を整えていただくよう、福祉の力を高めてほしいです。